1. 平成27年第4回郡上市議会定例会議事日程（第6日）

平成27年12月18日 開議

- 日程1 会議録署名議員の指名
- 日程2 議案第169号 郡上市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程3 議案第170号 郡上市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について
- 日程4 議案第171号 郡上市税条例等の一部を改正する条例について
- 日程5 議案第172号 郡上市手数料条例の一部を改正する条例について
- 日程6 議案第173号 郡上市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程7 議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程8 議案第175号 郡上市選挙公報の発行に関する条例の制定について
- 日程9 議案第176号 郡上市消防本部及び消防署等設置条例の一部を改正する条例について
- 日程10 議案第177号 郡上市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 日程11 議案第178号 郡上市小口融資条例の一部を改正する条例について
- 日程12 議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例について
- 日程13 議案第189号 郡上市総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程14 議案第190号 過疎地域自立促進計画の策定について
- 日程15 議案第191号 財産の無償譲渡について（二日町地区第2コミュニティ消防センター）
- 日程16 議案第192号 財産の無償譲渡について（石徹白上在所コミュニティセンター）
- 日程17 議案第193号 財産の無償譲渡について（高鷲正ヶ洞集会所）
- 日程18 議案第194号 財産の無償譲渡について（美並東母野集会所）
- 日程19 議案第195号 財産の貸与について
- 日程20 報告第17号 専決処分の報告について
- 日程21 議報告第12号 諸般の報告について（議員派遣の報告等）
- 日程22 議報告第13号 諸般の報告について（行政監査の結果）
- 日程23 議報告第14号 中間報告について

2. 本日の会議に付した事件

日程1から日程23まで

日程24 議発第11号 郡上市議会基本条例の制定について

3. 出席議員は次のとおりである。(18名)

1番	山 川 直 保	2番	田 中 康 久
3番	森 喜 人	4番	田 代 はつ江
5番	兼 山 悌 孝	6番	野 田 龍 雄
7番	鷺 見 馨	8番	山 田 忠 平
9番	村 瀬 弥治郎	10番	古 川 文 雄
11番	清 水 正 照	12番	上 田 謙 市
13番	武 藤 忠 樹	14番	尾 村 忠 雄
15番	渡 辺 友 三	16番	清 水 敏 夫
17番	美谷添 生	18番	田 中 和 幸

4. 欠席議員は次のとおりである。(なし)

5. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	日 置 敏 明	教 育 長	青 木 修
市長公室長	田 中 義 久	総 務 部 長	三 島 哲 也
健康福祉部長	羽田野 博 徳	農林水産部長	下 平 典 良
商工観光部長	山 下 正 則	建 設 部 長	古 川 甲子夫
環境水道部長	平 澤 克 典	教 育 次 長	細 川 竜 弥
会計管理者	佐 藤 宗 春	消 防 長	川 島 和 美
郡上市民病院 事 務 局 長	尾 藤 康 春	国保白鳥病院 事 務 局 長	藤 代 求
郡 上 市 代表監査委員	齋 藤 仁 司		

6. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長	長 岡 文 男	議会事務局 議会総務課 主任主査	加 藤 光 俊
議会事務局 議会総務課主査	武 藤 淳		

◎開議の宣告

○議長（尾村忠雄君） おはようございます。

議員の皆様には、12月1日開会以来、それぞれの出務、御苦労さまでございます。いよいよ最終日を迎えることになりました。よろしく御審議のほどお願いをいたします。

ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付してありますので、お願いいたします。

（午前 9時30分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（尾村忠雄君） 日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第88条の規定により、会議録署名議員には、3番 森喜人君、4番 田代はつ江君を指名いたします。

◎議案第169号から議案第179号までについて（委員長報告・討論・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程2、議案第169号 郡上市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例についてから、日程12、議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例についてまでの11議案を一括議題といたします。

ただいま一括議題といたしました11議案は、所管の常任委員会に審査を付託してあります。各委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

初めに、総務常任委員長、11番 清水正照君。

11番 清水正照君。

○11番（清水正照君） おはようございます。

それでは、総務常任委員会の報告をいたします。

平成27年12月1日開催の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました条例9議案につきまして、平成27年12月10日開催の第5回総務常任委員会において慎重に審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第169号 郡上市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について。

市長公室長及び人事課長から、被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公務員災害補償法施行令が改められたことから、議員等が公務

中に被災し、年金たる補償及び休業補償を受ける場合に同一の事由によって本人が加入する年金制度から社会保障給付が支給される場合に調整を行う規定について、所要の改正を行うとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、条例改正により現職議員、退職した議員経験者にはどのような影響があるかとの質問があり、今回の改正は、昭和34年の国家公務員共済制度創設以前、または昭和37年の地方公務員共済制度創設以前に職員として在職期間のある方について併給調整の対象とするものであり、対象者は極めて少ないと思われるとの説明がありました。

公務災害補償における保険料について質問があり、議会議員、その他委員等を合わせた報酬等の年額に1000分の3.11を乗じた額である69万1,120円を今年度の保険料として総務管理事務経費の中で支払っているとの説明がありました。

公務災害補償の年金額と調整率の関係について質問があり、議会議員が公務中に負傷し傷病等級を第1級として認定された場合の年金の年額は、報酬月額を30で除して得た「補償基礎額」に掛け率の313を乗じ、さらに本人が加入する年金制度から障害厚生年金等の給付がある場合は、条例附則第5条に定める調整率を乗じて得た額になるとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第170号 郡上市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について。

市長公室長から、政務活動費の額に関する条例を議会に提出する場合において、郡上市特別職報酬等審議会の意見を聞くこととするための改正であるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、議員でも政務活動費について認識が違っている。特別職報酬等審議会には、政務活動費についてどのように説明していくのかとの質問があり、法の趣旨に沿って議員としての活動を活発にしていいただくために、使途を明らかにしながら、報酬とは異なる一定の経費として認めていくことが必要である旨の話をするとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第171号 郡上市税条例の一部を改正する条例について。

総務部長及び税務課長から、地方税法の一部改正に伴い、徴収猶予に係る市の徴収金の分割納付について、職権による換価の猶予の手續等、所要の規定について整備するとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、国民健康保険税の徴収猶予及び換価の猶予の運用について質問があり、国民健康保険税を含めた市税全般が対象になるとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第172号 郡上市手数料条例の一部を改正する条例について。

総務部長から、平成28年1月1日以降、住民基本台帳カードは発行しないこととなるため、別表第1中の住民基本台帳カード交付に関する手数料の一部を削除するとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、住基カードの現在の発行枚数と利用について質問があり、838枚が有効となっており、本人確認やe-Taxにおける電子証明書に利用されているとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。議案第173号 郡上市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について。

総務部長から、地区集会所4施設について、各自治会へ無償譲渡するため公の施設から外すものであるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、地区集会所の払い下げ状況と今後の見通しについて質問があり、対象の施設は114件で、平成26年度までに52件を譲渡しており、平成27年度は6件を譲渡する予定である。残っている施設のうち50件については、国の補助金上の処分制限期間や起債償還期間が残っており、これらの期間が終了次第、譲渡の承諾を得ている物件から順次進めていくとの説明がありました。

譲渡した後の維持管理の費用負担について質問があり、光熱水費等は譲渡前から地元が負担している。また、修繕については、市の補助金による支援ができるとの説明がありました。

審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について。

総務部長及び総務課長から、番号法第9条第2項の規定により、社会保障、税等に関する事務について、条例で定めることにより個人番号の利用や庁内連携を可能にするものであるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、今回、個人番号を利用する事務を新たに定めることに至った経緯について質問があり、条例で定めることにより、個人番号を利用した市独自の事務を行うことができるものであり、個人番号を取り扱う課により組織をつくって協議を進めてきた結果、今回提案した業務について個人番号を利用することとし、事務の合理化を図りたいとの説明がありました。

地方税の申告をするに当たって、扶養家族の個人番号を市で管理すれば、報告する必要がなくなるのではないかと質問があり、条例で定めた業務において庁舎内で情報を連携できることになるが、番号法においては、個人番号は本人から取得するものと定められているので管理できないとの説明がありました。

今後も個人番号を扱う業務が追加されていくのかとの質問があり、政府の示す番号法に関する推進スケジュールによれば、今後、個人番号の利用範囲が拡大されていく可能性があるため、それに伴う市の業務もふえていくことが予想される。平成29年度からは他市町村等との情報ネットワーク連携が始まり、これまで他市町村から取り寄せていた住民票や所得証明書などは、必要に応じて社会保障、税、災害対策の分野において利用が追加されていくと思われるとの説明がありました。

法人市民税などに関する事務で、法人番号が市に入ってきた場合、法人における従業員の情報の

漏えいが懸念されるとの質問があり、法人番号は公開情報で、インターネット等で公開されており、個人番号との連携は想定していないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては賛成多数で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第175号 郡上市選挙公報の発行に関する条例の制定について。

総務部長から、郡上市議会議員選挙及び郡上市長選挙における、選挙公報を発行するために条例を定めるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、ポスター掲示の順を決める際にもくじを引くが、選挙公報の掲載順を決めるときにも改めてくじを引くのかとの質問があり、ポスター掲示場の順序と同じ形式であるが、選挙公報についても別に行うものであるとの説明がありました。

選挙公営制度について質問があり、選挙区が一つになったことや、市民からの声があったため、選挙管理委員会で検討して、まず選挙公報で広く候補者を知らせていくこととした。選挙公営制度に関する委員からの意見等については、選挙管理委員会委員長に伝えるとの説明がありました。

ポスター掲示場や投票所の数について質問があり、郡上市は山間地で集落が限られていることから、ポスター掲示場は県との協議により、設置基準の594カ所を251カ所に減少している。減少する場合は、直近の選挙で問題がなかったかなどを検証して協議するものであるが、来春の市議会議員選挙及び市長選挙では、ポスター掲示場の数及び投票所の数の変更はないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第176号 郡上市消防本部及び消防署等設置条例の一部を改正する条例について。

消防長から、中消防署及び北消防署の管轄区域を現状にあわせて見直し、管轄区域の表記の仕方を改める。南出張所は中消防署の組織の一部であるため条例から削除し、「郡上市消防署の組織に関する規程」に明記するとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、これまでのように中消防署の管轄区域に大和町の一部を入れておかなくてもよいかとの質問があり、緊急時の出場区域は「郡上市消防本部災害出場規程」に明記しており、大和町の一部も含んでいるとの説明がありました。

小那比や野々倉への体制について質問があり、中消防署の管轄区域とし、これまでどおり南出張所から出動するとの説明がありました。

東海北陸自動車道への対応について質問があり、中消防署は郡上八幡インターから白鳥インターの下り車線を担当し、上り車線は北消防署の担当となる。郡上八幡インターから美並インターの上り車線は中消防署が担当し、下り車線は南出張所の担当となる。美並インターから美濃インターまでの上り車線は南出張所が担当し、下り車線は中濃消防本部が担当するとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。
議案第177号 郡上市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について。

消防長から、被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が改められたことから、所要の規定を整備するとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、対象年齢が18歳から22歳に変わっていることについて質問があり、今回の改正で政令に合わせたものであるとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会総務常任委員会委員長 清水正照君。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（尾村忠雄君） 続いて、産業建設常任委員長、10番 古川文雄君。

10番 古川文雄君。

○10番（古川文雄君） おはようございます。

産業建設常任委員会の報告をさせていただきます。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました条例1議案につきまして、平成27年12月11日開催の第4回産業建設常任委員会において慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第178号 郡上市小口融資条例の一部を改正する条例について。

商工観光部長及び商工課長から、中小企業信用保険法の一部改正により融資対象者にNPO法人が追加されたことに伴い、関係条文を改めるものであるが、小口零細企業——のNPO法人は融資の対象としないとの説明を受けました。

審査の中で、委員からは、具体的な影響について質問があり、制度改正によりNPO法人が中小企業信用保険法の融資対象となったのが本年10月1日からであり、まだ日が浅いことや、金融機関への融資申し込み状況については個人情報のため情報収集ができないことにより、市内のNPO法人の融資申請の状況は把握していないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会産業建設常任委員会委員長 古川文雄。

以上でございます。お願い申し上げます。

○議長（尾村忠雄君） 続いて、文教民生常任委員長、4番 田代はつ江君。

4番 田代はつ江君。

○4番（田代はつ江君） おはようございます。

それでは、文教民生常任委員会の報告をさせていただきます。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました条例1議案につきまして、平成27年12月14日開催の第4回文教民生常任委員会において慎重に審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例について。

健康福祉部長から、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、国民健康保険税の減免、介護保険料の徴収猶予及び減免手続に関する規定を整備するとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、個人番号の記載に伴う行政事務の簡素化について質問があり、個人番号利用事務において、住民にとっては個人番号を記載することで申請時に用意しなければならない諸証明書類を省くことができるなど負担の軽減につながること、行政側は個人番号と本人確認を行うことになるが、法の規定に基づき適正な事務処理に努めたいとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会文教民生常任委員会委員長 田代はつ江。

以上でございます。

○議長（尾村忠雄君） 報告が終わったので、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認め、議案ごとに討論、採決を行います。

議案第169号 郡上市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第169号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第169号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第170号 郡上市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第170号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決

することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第170号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第171号 郡上市税条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第171号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第171号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第172号 郡上市手数料条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第172号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第172号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第173号 郡上市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第173号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第173号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

6番 野田龍雄君。

○6番(野田龍雄君) 6番、野田です。議案174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について、反対討論を行います。

この制度は、住民票のある一人一人に12桁の番号をつけ、税金や社会保障、災害に関する情報を連携させ、国が一元的に管理・利用するものであります。

民主党政権の説明では、社会保障を推進するためという理由でした。しかし、安倍政権になって法案の目的を修正し、成長戦略に番号制導入とIT国家化を位置づけ、民間分野での利用拡大へと転換をしました。

マイナンバー法が成立したのは2013年5月、ことし9月に改定をし、その内容は金融機関の預貯金口座や保険健診などにマイナンバーをつけるという民間や医療分野に利用を拡大するものです。

個人番号カードには、来年の1月から取得できるという、マイナンバーをつけるという民間や——失礼しました。個人番号カードにはICチップが搭載されます。安倍政権が目指しているのは、やがて社員証とか、健康保険証、クレジットカードなどなども統合するワンカード化だと言われております。

さらに、顔写真、指紋や目の虹彩など生体情報も入れる計画と言われております。

カードを全国民が所持し、常時必携、国民監視の道具にされかねません。政府は、利便性が高まると宣伝していますが、年に数回の行政手続の一部が将来できる程度であり、マイナンバー制度でなくてもできることです。

マイナンバーの利用範囲を広げることによって、多くの機会に利用するために日常的に個人番号カードを持ち歩くということは、個人情報保護の観点からも大変危険であります。

マイナンバー制度の本当の狙いは、税の徴収漏れや不正受給防止を強め、社会保障などの公共サービスを抑制することであると多くの識者が指摘をしています。

全員強制、生涯不変、官民共通利用の番号が使われるようになると、個人の情報があちこちにためられ、番号そのものに価値が生まれることとなります。

アメリカや韓国では、大量の個人情報の流出と成り済まし被害が深刻になり、民間分野での利用禁止や規制、省庁により独自番号への切りかえなど、官民共通利用の見直しが始まっています。

ドイツ、フランス、イギリスなどでは、こうしたやり方はしておりません。

以上のことから、この制度には多くの問題点があり、議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例は、市が独自に個人番号を利用する事務を定める等、所要の規定を整備することを定める条例ですが、生活保護に関する事務や地方税の賦課徴収事務、公営住宅の管理に関する事務などに対し、それらの関係情報を提供する事務の追加を行うものです。

今回は別表第1の追加と、別表第2は2項目であったものが、17項目に追加されるものです。今後はこうした連携事務が市や国の都合によってどんどんふえていくのではないかと危惧するところです。このマイナンバー制度の拡大によって、一層の個人情報を利用され、情報の漏えいや国民への税の捕捉や福祉の給付抑制に利用されることがどんどん進行するのでは、困ったことであります。

国のマイナンバー制度の施行に対し、郡上市がそれに対し一定の条例の準備をしなければなら

いことは理解できますが、マイナンバー制度が国民、市民に対して、相応のメリットがあるのかどうか、むしろ心配や不安のほうが多く、その進め方も大変慌ただしく進められ、事務手続上も既に多くの問題点が指摘されているところです。

以上の理由から、議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例に対し、反対の討論といたします。議員の皆さんの御賛同をお願いいたします。

○議長（尾村忠雄君） 賛成討論はありますか。

（挙手する者あり）

○議長（尾村忠雄君） 12番 上田謙市君。

○12番（上田謙市君） 12番、上田です。議案第174号 郡上市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について、委員長の報告のとおり賛成の立場で意見を述べます。

この条例案は、個人番号制度、いわゆるマイナンバー制度の趣旨に基づき、法定事務である法律に定める行政事務のほか、郡上市が個人番号を利用してできる業務と庁舎内で連携できる事務の内容を明確にさせるために条例を改正するものであり、個人番号の利用を拡大することではなく、法の範囲内で利用できる内容を明確にして規定するものであります。

個人番号を活用するメリットは、市民から市への手続の面では、例えばこれまで必要とされた所得証明などの各種書類の添付が不要になるなどがあります。また、他の市町村などとの情報連携や庁内連携による事務の正確性と効率化が向上することもあります。

そして、個人番号を取り扱うシステムへのアクセスは、許可された職員のみが行うことができるとされており、自分の番号（マイナンバー）がどこに、いつ、どんな目的で使われたのかということが確認できるシステムもつくられる予定であり、市民からも運用の状況を監視することができるということで、セキュリティー対策にも万全が期されております。

この制度は、導入されて日も浅く、運用における漏えいなどの懸念を過剰に報道するマスコミもありますが、100%の安全性は困難としても、制度とシステムの面からは、想定される限りの保護措置が講じられているところであり、適正な運用が図られるものと確信されますので、本条例案の改正に賛成するものであります。

同僚議員の賛同をお願いして、賛成の討論とします。

○議長（尾村忠雄君） ほかに討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 討論なしと認め、討論を終結し、採決をいたします。

議案第174号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(尾村忠雄君) 起立多数と認めます。よって、議案第174号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第175号 郡上市選挙公報の発行に関する条例の制定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第175号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第175号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第176号 郡上市消防本部及び消防署等設置条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第176号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第176号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第177号 郡上市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第177号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第177号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第178号 郡上市小口融資条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第178号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第178号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例につい

てに対する討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 6番、野田です。議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例に対する反対討論を行います。

この条例は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、所要の規定を整備するため定められるものです。

国民健康保険税の減免の申請をするときに、氏名と住所のほかに個人番号を記入することが求められ、また、介護保険料の徴収猶予や減免の申請をするとき、氏名、住所に加えて個人番号を記入することが求められております。

このマイナンバー制度は、さきに174号の反対討論で述べましたように、市民の一人一人に12桁の番号をつけ、税金や社会保障、災害に関する情報を連携させ、市や国が一元的に管理・利用するものです。

安倍政権になって法案の目的を修正し、成長戦略に番号制導入とIT国家化を位置づけ、民間分野での利用拡大へと強引に進めております。ことし9月には、改定を行い、金融機関の預金口座や保険健診等にマイナンバーをつけるという民間や医療分野に利用を拡大しました。

また、個人番号カードの取得も奨励し、やがてそれは社員証とか健康保険証、クレジットカードなども統合するワンカード化だと言われております。カードを全国民が所持し、いつも身につけておる形になり、これは国民監視の道具にもされかねません。

政府は利便性が高まると宣伝していますが、年に数回の行政手続の一部が省略できる程度であり、マイナンバー制度がなくてもできます。マイナンバーの利用範囲を広げることによって、多くの機会に利用するために日常的に個人番号カードを持ち歩くことになり、個人情報保護の観点からも大変危険であり、慎重に検討する必要があります。

マイナンバー制度の本当の狙いは、税の徴収漏れや不正受給防止を強め、社会保障などの公共サービスの抑制をすることであると多くの識者が指摘をしております。

全員強制、生涯不変、官民共通利用の番号が使われるようになると、個人の情報があちこちにためられ、番号そのものに価値が生まれ、漏えいや成り済ましの犯罪がふえることが心配されます。

さきにも言いましたように、アメリカ・韓国では、この個人情報が大量に流出し、成り済まし被害が深刻になっておりますので、民間分野での利用禁止や規制、省庁により独自番号への切りかえなど、官民共通利用の見直しが始まっています。

以上のことから、この制度には多くの問題点があり、議案179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例は、国民健康保険や介護保険に関する事務などに対し個人番号の記入を求めるものですが、今後はこうした連携事務が、市や国の都合によってどんどん

ふえていくのではないかと危惧するところであります。

このマイナンバー制度拡大によって一層の個人情報を利用され、情報の漏えいや国民への税の捕捉や福祉の給付抑制に利用されることがどんどん進行するのではないかと心配であります。事務手続上も既に多くの問題点が指摘されております。

こうした以上の理由から、議案第179号 郡上市国民健康保険税条例及び郡上市介護保険条例の一部を改正する条例に対し、反対の討論といたします。議員の皆さんの御賛同をお願いいたします。

○議長（尾村忠雄君） 賛成討論はありますか。

（挙手する者あり）

○議長（尾村忠雄君） 16番 清水敏夫君。

○16番（清水敏夫君） 16番、清水です。当議案につきましては、文教民生常任委員会への付託事案であり、田代委員長のもと慎重に審議をした一人として、委員長報告のとおり、議案第179号の原案に賛成の立ち位置で討論をさせていただきます。

まず、今回の条例改正は、国の法律や政令等を受けて改正する、いわゆる法定業務であり、市民サービスに混乱の生じないよう進めるべきものと考えます。

具体的には、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法の施行に伴い、国民健康保険と介護保険の減免等に係る申請に当たって、個人番号の記載を加えるものです。

執行部の説明では、個人番号を利用することで、社会保障の諸手続において必要となる諸証明書類の提出を省くことができるなど、行政手続の簡素化とともに、情報連携等により事務が正確かつスムーズになり、市民の負担軽減が期待できるとのこと。

一方、懸念されている情報漏えいについては、市が管理する特定個人情報は、法律や条例に基づく運用はもとより、安全管理対策に万全を期すため、個人番号を取り扱うシステムの使用は許可された職員に限って行うこと、特定個人情報を保存する場合は、パスワードと暗号化による保護を徹底するとのこと。

仮に今回、この条例が改正されなかった場合、市民が国民健康保険税の減免や介護保険料の徴収猶予、また減免の申請手続の際、郡上市においては、その申請書様式も改正されなくなり、国の示す手続とは異なってくるため、申請時に支障を生じることも予想され、最終的には市民に複雑な手続を余儀なくされるなど不利益を与えかねません。

とは言いながらも、改正の根っこであるマイナンバー制度への不安があるのもまた事実であります。

そこで執行部におかれては、さきに定められております郡上市特定個人情報の安全管理に関する基本方針を遵守され、特定個人情報の適正な取り扱いと厳格な保護について、組織を挙げて取り組

まれるよう要請をいたします。

以上のことから、番号法に基づく本条例の一部改正については賛成するものでありますので、議員各位の御賛同をお願いいたし、賛成の討論とさせていただきます。よろしくお取り計らいをお願いいたします。終わり。

○議長（尾村忠雄君） ほかに討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 討論なしと認め、討論を終結し、採決いたします。

議案第179号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（尾村忠雄君） 賛成多数と認めます。よって、議案第179号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議案第189号について（委員長報告・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程13、議案第189号 郡上市総合スポーツセンターの指定管理者の指定についてを議題といたします。

文教民生常任委員会に審査を付託してありますので、委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

文教民生常任委員長、4番 田代はつ江君。

4番 田代はつ江君。

○4番（田代はつ江君） それでは、その他議案のところで文教民生常任委員会の報告をさせていただきます。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました郡上市総合スポーツセンターの指定管理者の指定につきまして、平成27年12月14日開催の第4回文教民生常任委員会において慎重に審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第189号 郡上市総合スポーツセンターの指定管理者の指定について。

教育次長から、指定管理期間の満了により、平成28年度から5年間の指定管理者について、候補団体を提出するものであるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、指定管理の範囲について質問があり、建物、駐車場、植栽等、敷地全体が指定管理の範囲であるとの説明がありました。

事故等発生した場合の対応について質問があり、指定管理施設は施設損害賠償責任保険に加入す

ることになっており、施設そのものに重大な瑕疵がある場合を除き、指定管理者の対応となるとの説明がありました。

指定管理者候補団体であるドルフィン株式会社の本社・支店機能について質問があり、ドルフィン株式会社郡上支店が郡上市総合スポーツセンターの管理運営をしており、ドルフィン株式会社運営本部がサポートを行っているとの説明がありました。

ドルフィン株式会社の事業内容について質問があり、岐阜県から指定された岐阜市の岐阜アリーナを初め3施設の指定管理を受けており、ほかにも4施設の直営施設を運営しているとの説明がありました。

赤字が出た場合の補填の仕組みについて質問があり、単年度で判断するのではなく、仕様書に記載されたリスク分担に基づいた長期的な視点で協議を行うとの説明がありました。

過去10年間で大幅な支出削減を果たせた経営改善の方法について質問があり、ドルフィン株式会社での物品等の一括調達、グループ企業が修繕を請け負う、イベント等において本部との連携によるスタッフの増強、また、指定管理による管理運営の一本化等での経費削減であるとの説明がありました。

また、利用者に地域別で差があるとの質問があり、指定管理者には可能な限り市内全域から利用しやすい企画の立案や環境整備について協議をしたいとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会文教民生常任委員会委員長 田代はつ江。

以上です。

○議長（尾村忠雄君） 報告が終わったので、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認めます。よって、議案第189号に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第189号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第189号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議案第190号について（委員長報告・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程14、議案第190号 過疎地域自立促進計画の策定についてを議題といたします。

総務常任委員会に審査を付託してありますので、委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

総務常任委員長、11番 清水正照君。

11番 清水正照君。

○11番（清水正照君） それでは、総務常任委員会の報告をいたします。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました過疎地域自立促進計画の策定議案につきまして、平成27年12月10日開催の第5回総務常任委員会において慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第190号 過疎地域自立促進計画の策定について。

市長公室次長及び明宝振興事務所長、和良振興事務所長から、過疎地域自立促進特別措置法の改正により、平成28年度から平成32年度までの5年間の再延長となったことを受け、郡上市で新たに策定した過疎地域自立促進計画策定の基本的な考え方や、本計画に盛り込んだ明宝地域、和良地域のハード及びソフト事業についての説明を受けました。

審査の中で、委員から、明宝ジビエの商品化による規模について質問があり、平成26年度の捕獲実績はニホンジカが955頭、イノシシが129頭であった。今後捕獲された野生獣をジビエとして利用していくために、ジビエの研究会が立ち上がっている。県関係機関の助成金や所長枠予算なども利用して、郡上市から無償譲渡を受けた旧奥住消防団詰所の改修や備品を買いそろえ、解体に係る研修会を開催するなどして、商品化に向けて取り組んでいきたいとの説明がありました。

空き家の活用を進めていく中で、明宝の公営住宅の整備計画は必要かとの質問があり、空き家の活用を進めているが、移住希望者に対して住むところが圧倒的に少ない。また、若い女性が安心して住めるところが求められているという声を聞いているため、計画として上げているとの説明がありました。

和良町への移住者について質問があり、7人の移住があり、内訳は20代の独身者が1名、60代の夫婦が3組で、定年後に来られており、現在は仕事は考えられていない。応援隊が空き家の持ち主と交渉し、入居の橋渡しを行っている。移住希望者の問い合わせは現在8組あり、空き家の持ち主と交渉を行っている現状であるとの説明がありました。

両地域に高速情報通信基盤整備の計画があるが、光化の整備を行っていくのかと質問があり、現在の通信回線の耐用年数の関係から、通信事業者が整備をしないところを光化していく場合の対応として、計画に上げているとの説明がありました。

過疎地域自立促進計画により地域振興事業を展開していく中で、振興事務所のあり方について質問があり、過疎地域に該当する地域は、過疎法による計画に基づき地域振興が推進されているということであり、他の振興事務所と比べて過疎地域の事務事業を別段多くやっているというわけではない。職員数について、他の振興事務所も含めて、郡上市全体の職員配置の中で考えていきたいとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会総務常任委員会委員長 清水正照。

以上でございます。

○議長（尾村忠雄君） 報告が終わったので、委員長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認めます。

議案第190号に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第190号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第190号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

ここで暫時休憩をいたします。開会は10時45分といたします。

（午前10時32分）

○議長（尾村忠雄君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

（午前10時43分）

○議長（尾村忠雄君） ここで、10番 古川文雄君より発言を求められておりますので、許可をいたします。

10番 古川文雄君。

○10番（古川文雄君） 先ほどの委員長報告の中で追加訂正をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

3行目の「保証制度に対応した郡上市小口融資制度は、医業を主たる事業とするNPO法人以外」までを追加させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（尾村忠雄君） 以上のように訂正をお願いいたします。

◎議案第191号から議案第194号までについて（委員長報告・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程15、議案第191号 財産の無償譲渡について（二日町地区第2コミュニティ消防センター）から、日程18、議案第194号 財産の無償譲渡について（美並東母野集会所）の4議案を一括議題といたします。

ただいま一括議題としました4議案は、総務常任委員会に審査を付託してあります。委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

総務常任委員長、11番 清水正照君。

11番 清水正照君。

○11番（清水正照君） それでは、総務常任委員会の報告をいたします。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました財産の無償譲渡4議案につきまして、平成27年12月10日開催の第5回総務常任委員会において慎重に審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第191号 財産の無償譲渡について（二日町地区第2コミュニティ消防センター）、議案第192号 財産の無償譲渡について（石徹白上在所コミュニティセンター）、議案第193号 財産の無償譲渡について（高鷲正ヶ洞集会所）、議案第194号 財産の無償譲渡について（美並東母野集会所）。

審査に当たり、議案第191号から議案第194号の4件は関連があるため、一括議題として説明を求め、一括質疑の後、採決を行いました。

総務課長から、集会所の4施設については、国の補助金や起債に係る制約がなくなり、平成27年4月1日現在で譲渡が可能となったため、地元の意向を受けて譲渡し、引き続き地域の施設として使っていただくとの説明を受けました。

委員から、敷地が市有地である場合の使用料について質問があり、「施設の見直しにおける短期実施予定施設の分野別方針及び課題」の定めにより、集会場の譲渡の場合は借地料を免除している。また、譲渡先が地縁団体なら、敷地も無償譲渡することとしているとの説明がありました。

木造施設の耐用年数について質問があり、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（大蔵省令）で規定されている耐用年数が、木造施設の場合は26年となっているとの説明がありました。

以上、審査の結果、議案第191号から議案第194号の4件について、いずれも本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会総務常任委員会委員長 清水正照。

以上でございます。

○議長（尾村忠雄君） 報告が終わったので、委員長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認め、議案ごとに討論、採決を行います。

議案第191号 財産の無償譲渡について（二日町地区第2コミュニティ消防センター）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第191号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第191号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第192号 財産の無償譲渡について（石徹白上在所コミュニティセンター）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第192号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第192号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第193号 財産の無償譲渡について（高鷲正ヶ洞集会所）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第193号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第193号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第194号 財産の無償譲渡について（美並東母野集会所）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第194号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第194号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議案第195号について（委員長報告・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程19、議案第195号 財産の貸与についてを議題といたします。

産業建設常任委員会に審査を付託してあります。委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

産業建設常任委員長、10番 古川文雄君。

10番 古川文雄君。

○10番（古川文雄君） それでは、産業建設常任委員会から報告をさせていただきます。

平成27年12月1日開会の平成27年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました財産の貸与につきまして、平成27年12月11日開催の第4回産業建設常任委員会において慎重に審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

議案第195号 財産の貸与について。

農林水産部長から、水沢上牧場の旧管理棟ほか5施設について、施設の有効活用と畜産振興を図るため、市内の畜産農家に安価で貸与したい。施設については8年間の有償貸与の後に無償譲渡することを条件に公募し、申し込みのあった2軒の畜産農家から選定委員会で貸与の相手方を決定したとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、貸与の相手方には保証金または保証人は必要ないのかとの質問があり、賃貸借契約書中に記載してあるとおり、貸貸人及び賃借人の両者は信義を重んじ、誠意を持って協議するため必要ない。また、経営状況も審査の対象としており、健全な経営で問題はないとの説明がありました。

貸与の期間は1月1日からとなっているが、準備期間はないのかとの質問があり、本定例会での議決以後は下見、牛等の移動は可能であり、その期間の貸付料は発生しないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定いたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告します。平成27年12月18日、郡上市議会議長 尾村忠雄様。郡上市議会産業建設常任委員会委員長 古川文雄。

以上でございます。お願いします。

○議長（尾村忠雄君） 報告が終わったので、委員長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認めます。

議案第195号に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し、採決いたします。

議案第195号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決

することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議案第195号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎報告第17号について(報告)

○議長(尾村忠雄君) 日程20、報告第17号 専決処分の報告についてを議題といたします。

報告を求めます。

総務部長 三島哲也君。

○総務部長(三島哲也君) 報告第17号 専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。平成27年12月18日提出、郡上市長 日置敏明。

1枚おめくりください。

専決第13号 専決処分書(和解及び損害賠償の額の決定について)。

和解及び損害賠償の額を決定することについて、地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。平成27年12月2日、郡上市長 日置敏明。

1、損害賠償による和解。平成27年10月27日午後2時ごろ、郡上市大和町神路地内において、草刈り作業中の刃が石をはね、それが電話ボックスに当たりガラス1面が破損した。市は示談により損害を賠償する。

2、損害賠償の相手方、記載のとおりでございます。

損害賠償の額、4万1,778円でございます。

どうも失礼しました。

○議長(尾村忠雄君) 報告が終わったので、質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 質疑なしと認めます。

以上で報告第17号の報告を終わります。

◎議報告第12号について

○議長(尾村忠雄君) 日程21、議報告第12号 諸般の報告について(議員派遣の報告等)。

議員派遣報告書を別紙写しのとおり提出しましたので、お目通しいただき、報告にかえます。

◎議報告第13号について

○議長（尾村忠雄君） 日程22、議報告第13号 諸般の報告について（行政監査の結果）。

行政監査結果が監査委員より別紙写しのとおり提出されましたので、お目通しいたごき、報告にかえまごす。

◎議報告第14号について

○議長（尾村忠雄君） 日程23、議報告第14号 中間報告について。

議会だより編集特別委員会の視察研修報告を別紙写しのとおり提出しましたので、お目通しいたごき、報告にかえまごす。

ここで日程の追加をしたいと思います。

議発第11号 郡上市議会基本条例の制定についてを日程に追加したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認め、日程に追加します。

追加日程につきましては、お手元に配付してありますので、よろしくお願いいたごします。

◎議発第11号について（議案朗読・提案説明・採決）

○議長（尾村忠雄君） 日程24、議発第11号 郡上市議会基本条例の制定についてを議題といたごします。

事務局に朗読させまごす。

議会事務局長 長岡文男君。

○議会事務局長（長岡文男君）

議発第11号

郡上市議会基本条例の制定について

郡上市議会基本条例を地方自治法（昭和22年法律第67号）第112条及び郡上市議会会議規則（平成24年郡上市議会規則第2号）第14条の規定により提出する。

平成27年12月18日提出

提出者 郡上市議会議員 武藤忠樹

賛成者 郡上市議会議員 森喜人

賛成者 郡上市議会議員 上田謙市

郡上市議会議長 尾村忠雄様

提案理由、議会の基本理念、議員の責務及び活動原則等を定め、合議制の機関である議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に的確に応えるとともに、市民の福祉向上及び市勢の伸展に寄与するため、この条例を定めようとする。

次のページ以降、条文がございます。第1条から第26条までになる条文でございますが、条文朗読につきましては、省略をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長（尾村忠雄君） 提案説明を求めます。13番 武藤忠樹君。

13番 武藤忠樹君。

○13番（武藤忠樹君） 今、事務局から朗読説明された郡上市議会基本条例の制定についての提案説明をさせていただきます。

前上田委員長のもと特別委員会にて2年間、また昨年4月より1年8カ月の間、議長を除く全議員によりまして、特別委員会におきまして議論を重ねてまいりました。

議会報告会、議員間討議、広報の充実、視察研修の充実等々改革先行ではありましたが、これらのさまざまな改革を後退することなく、さらに真に郡上市民の福祉向上及び市勢の伸展に寄与する議会議員であるため、条例を定めようとするものであります。

さらに今後、議会サポーター、アドバイザーなど市民の参加、またタブレットの導入、議会議員の公務と政務についてなどの調査研究などもしていくことも必要なことであることを申し添え、提案説明とさせていただきます。

よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（尾村忠雄君） 説明が終わったので、質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。議発第11号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 異議なしと認めます。よって、議発第11号については、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（尾村忠雄君） 討論なしと認め、採決いたします。

議発第11号について、原案のとおり可とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(尾村忠雄君) 異議なしと認めます。よって、議発第11号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎市長挨拶

○議長(尾村忠雄君) 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

ここで、市長より御挨拶をいただきます。

市長 日置敏明君。

○市長(日置敏明君) 平成27年第4回郡上市議会定例会の閉会に当たりまして、御挨拶を申し上げたいと存じます。

閉会に当たっての御挨拶を申し上げる前に御報告を申し上げたいと思います。

今回のFAO(世界食糧農業機関)によります世界農業遺産認定の件についてでございます。

まず、議会の会期中でありましたが、今般の私、そして農林水産部長のイタリア・ローマ出張につきまして、御理解をいただきましたことに対しまして、厚く御礼を申し上げたいと思います。

認定に関する会議についてでございますけれども、ローマでの現地時間12月の15日午前9時半からございましたが、FAOの本部におきまして、開かれた委員会はFAO運営・科学合同委員会——運営委員会と科学委員会の合同委員会ということで、各国の委員19名ほどによって構成をされますその委員会におきまして、審査が行われました。

今回、世界農業遺産の審査に付されましたものは、日本からの3候補、3県の候補——岐阜県、和歌山県、宮崎県からの3地域の候補と、それからバングラデシュ、それからインドネシアのバリ島に関するそれぞれ1地域ずつ、計5地域の世界農業遺産認定申請に対する審査が行われました。

それぞれの地域代表によりまして15分ずつのプレゼンテーション、これ全て英語でなされましたけれども、日本からは3県の知事が出席をしまして、直接プレゼンテーションをされました。

宮崎県のほうは知事のプレゼンテーションとプラスその時間内に関係地域の女子高校生がやはり同じように5分ほどの英語のスピーチをされましたけれども、そのような形で各地域のプレゼンテーションが行われました。それぞれのプレゼンテーションにつきましては、二、三の質問のやりとりがございました。

その後私どもは退室をいたしまして、およそ、委員会のほうでは昼食をとらずに1時半ごろまで審査が行われまして、私どもは待機をいたしておりまして、その後呼び込まれまして、そして結果が発表ということになりました。結果は、既に皆様も新聞報道等で御承知のように、日本の3地域については認定、そしてまたバングラデシュの1件についても認定ということで、5件申請のうち

4件が認定をされることになりました。インドネシア・バリ島の候補地については、さらに再審査ということで、今回は認定をされなかったというようなことでもございました。

大変私どもとしては、胸をなでおろしたというようなことでもございました。

こちらのほうにおきましても、県庁あるいは郡上市におきましても、それぞれ認定をされたことにつきましての祝賀行事が行われたということでもございますが、郡上市のほうでの祝賀行事につきましても、議長さんを初め皆様にも御出席をいただいたということで、厚く御礼を申し上げたいと思います。

今般、こういうことで世界農業遺産認定をされましたけれども、現地において古田知事も言われましたけれども、「この認定がゴールではなくスタートにしたい」ということでもございまして、今般、アユと長良川という形で世界農業遺産に認定されたということを契機に、一層この地域で県や関係市とも連携をいたしまして、農林水産業の振興、あるいは観光面での活用等を図ってまいりたいというふうに思っておるところでございますので、よろしくまた、今後とも御理解、御支援をいただきたいというふうに思います。

さて、今般の議会でもございますけれども、12月1日に開始以来、本日まで議会におかれましては、御熱心に御審議をいただきまして、私どものほうから提出をさせていただきました案件につきましても、全て御決定をいただきまして、まことにありがとうございます。

審議中いただきましたいろいろな御意見、御提言につきましては、今後の市政運営に当たりまして十分踏まえてまいりたいというふうに存じます。

また、今議会におきまして、ただいま追加上程をされました郡上市議会基本条例がこれまでの検討を経て議決をされたわけでもございますが、この基本条例にのっとり郡上市議会がますます発展をいたしますように、また、郡上市議会と私ども執行部との関係、あるいは郡上市議会と市民との関係においても、今後とも住民自治、団体自治の本旨に基づく発展をいたしますよう、心から祈念を申し上げたいというふうに思います。また、敬意を表したいというふうに思います。

これから、暖冬と言われておりますけれども、寒さに向かってまいります。また、多忙な年末年始に入りますけれども、議員の皆様方におかれましては、健康に十分御留意をいただきまして、一層の御活躍をしていただきますよう祈念を申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（尾村忠雄君） ありがとうございます。

◎議長挨拶

○議長（尾村忠雄君） 平成27年第4回郡上市議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

今定例会は、去る12月1日から本日まで18日間にわたり、条例関係、補正予算など市政の諸案件につきまして、極めて慎重に御審議をいただき、全議案滞りなく議了することができました。議員各位の御協力に深く感謝をいたします。

また、市長を初め執行機関の各位におかれましても、常に真摯な態度をもって審議に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今定例会を通じ、議員各位から一般質問や審議の過程で述べられました意見、要望につきましては、今後の市政の執行に十分反映されますよう要望する次第であります。

議員並びに執行者各位におかれましては、年末年始を迎え何かと御多用と思いますが、御健康に御留意いただきまして、ますますの御活躍を御祈念申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（尾村忠雄君） 以上で本日の会議を閉じます。

これをもって、平成27年第4回郡上市議会定例会を閉会します。ありがとうございました。

(午前11時13分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

郡上市議会議長 尾 村 忠 雄

郡上市議会議員 森 喜 人

郡上市議会議員 田 代 はつ江